

なぜ若者は「死にたい」に 追い込まれるのか?





伊藤 次郎 さん

NPO法人OVA代表理事 精神保健福祉十

日本の若者の死因の1位は自殺で、

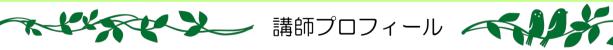
インターネット上には「死にたい」という言葉 が溢れています。なぜ若者は自殺に追い込まれる のか?実際に若者から相談を受けている経験から、 若者の現状を理解し、私達にできることを一緒に 考えます。

平成30年6月14日(木) 午前10時30分~正午

無料

参加費

- ■会場 ソレイユプラザなごや研修室
- ■事前申込制 (申込方法は裏面をご覧ください)
- ■対象 市内在住・在勤・在学の方
- ■定員 抽選30名
- 難聴者用磁気ループシステム対応
- 申し込み期限: 5月25日(金) まで





学習院大学法学科卒業。精神保健福祉士。

企業のメンタルヘルス対策を行う人事コンサルティング会社(EAPプロバイダー)、 精神科クリニックで働く人のメンタルヘルス対策に従事。

2013年よりマーケティングの手法で自殺に追い込まれている若者に支援を届け ようと「夜回り2.0(インターネット・ゲートキーパー)」の手法を開発・実施し、 2014年にはNPO法人OVAを設立した。国内外で講演・論文発表も行っている。 日本財団「ソーシャルイノベーター」選出(2016)。

AFRA「社会起業家54人」選出(2018)、朝日新聞「ひと」「社説」、NHK 「ハートネット」等、国内外のメディア掲載歴多数。

部落差別をこえて

~取材ノートから

臼井 敏男 さん

元朝日新聞論説委員





被差別部落(部落)とはなにか。部落差別 はどんなかたちで表れるのか。差別をなく すためには、どうすればいいのか。一昨年 つくられた部落差別解消推進法はどんな法 律か。新聞記者として部落を取材してきた 経験をもとにお話をします。

平成30年6月17日(日) 午後2時~午後4時

参加費

無料

- ■会場 ソレイユプラザなごや研修室 ■定員 抽選60名
- ■事前申込制 (申込方法は裏面をご覧ください) 難聴者用磁気ループシステム対応
- ■対象 市内在住・在勤・在学の方

- ■申し込み期限:5月25日(金)まで

講師プロフィール

1949年、岡山県生まれ。東京大学法学部卒業。1972年、朝日新聞社入社。宮 崎支局、行橋支局、福岡総局、朝日ジャーナル編集部、東京社会部をへて、大阪 社会部次長、東京社会部次長。1997年、論説委員、2000年、東京社会部長、 2003年、論説副主幹。2009年、定年。引き続き、朝日新聞でシニアライター として「ニッポン人脈記」を担当、「反逆の時を生きて」と「差別を越えて」を 執筆した。2010年、朝日新聞社を退職した。2009年4月より、慶應義塾大学 非常勤講師、武蔵大学非常勤講師、中央大学客員講師を歴任、現在は中央 大学兼任講師。著書『叛逆の時を生きて』(朝日新聞出版)、

『部落差別をこえて』(朝日新書)